

UCS Smart Call Home のトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco UCS での Call Home 機能の設定](#)

[トラブルシューティング方法](#)

[一般的な問題](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は既に設定されていた後問題を Smart Call Home (SCH) 機能でトラブルシューティングするとき奪取するためにステップを提供したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Smart Call Home

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco UCS での Call Home 機能の設定

、リリース 2.0 は Cisco UCS Manager GUI コンフィギュレーション ガイドの [Call Home](#) セクションの[設定](#)に行きます。

設定の短いビデオはここにあります: [UCS の Smart Call Home 設定](#)

[トラブルシューティング方法](#)

既に設定をチェックし、SCH サービスに登録してしまったと仮定して、UCS B シリーズ サーバの SCH 問題を解決するためにこれらのステップを完了して下さい。

1. UCS アクティブ FI への SSH。
2. 接続応答 nxos。
3. デバッグ callhome すべて
4. Webブラウザで UCSM に接続して下さい。ナビゲーション ペインで [Admin] タブをクリックします。Admin タブで、すべてを > 通信管理 > Call Home 拡張して下さい。作業ペインで、システム Inventory タブをクリックして下さい。操作エリアで、システム コンポーネントを今『Send』 をクリックして下さい。
5. nxos プロンプトの下の FI: 電子メールが Call Home のために設定された受信者に送信されたかどうか見る undebug all チェック。 および見たらデバッグ 出力のエラーは UCS の SCH 設定をチェックします。 有効なファイルがあれば、次のステップに進みます。
6. ethanalyzer が付いている SCH メール パケットをキャプチャ することを試みて下さい。Ethanalyzer はサードパーティ ネットワーク プロブのための必要を簡素化するオペレーティング システム内の NX-OS にスニффイング機能を提供します。nxos プロンプトの下の nxos:デバッグ callhome すべてethanalyzer ローカル スニフ インターフェイス mgmt キャプチャ フィルタ「ポート smtp」制限キャプチャ帯 0デフォルトで Ethanalyzer は 10 までの帯をキャプチャします。 値を変更するか、または異なる値に設定 するか、または値 0 の使用によって制限を取除くのに制限キャプチャ帯を利用して下さい。これは同じイベントのためのデバッグおよびパケットキャプチャを集め、smtp ポートだけにパケットキャプチャを制限する試みです。
7. コンポーネントを再度送信 するためにステップ 4 を繰り返して下さい。 デバッグおよび ethanalyzer を消すためにステップ 5 とこれに続いて下さい。 注：CTRL+C が ethanalyzer キャプチャを停止するのに利用することができます。
8. 再度、電子メールが Call Home のために設定された受信者に送信されたかどうか見るチェック。 設定が正しければ電子メールが ethanalyzer キャプチャで出かけるのを見るはずです。受信者が電子メール チェック ethanalyzer を **Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)** エラーのために出力されて得なかったら。 それは SMTP サーバが正しく設定されないことであることができます。
9. 電子メールが Call Home のために設定された受信者送信されたが SCH Cisco TAC サービス リクエスト (SR) に行きますこのページに開かれませんでした: tools.cisco.com/schこのリンクは SCH 後部がコール ホーム アラートを受け取ったかどうか調べることを可能にします。それらに送るシリアル番号/ホスト名デバイス ID に基づいてことのできる各種各様のレポート、先祖などがありますテストにコンポーネントを送信 するかわりに Call Home アラートがほしいと思えばシステム コンポーネントの代わりに次を試みるすることができます。

以下はこのページからの抜粋です: [テスト コール ホーム アラートの送信](#)

```
Step 1UCS-A# scope monitoring
Enters monitoring mode.
```

```
Step 3UCS-A /monitoring/callhome # send-test-alert
Sends a test Call Home alert using one or more of the following alert parameters:
```

```
Alert description
```

```
Alert group
Event severity level
Message type
Message subtype
```

テスト コール ホーム アラートが発信される時、Call Home は他のどのアラートに回答し、設定された宛先 eメールアドレスにそれをように渡します。

次の例は環境アラート グループの設定された宛先 eメールアドレスにテスト コール ホーム アラートを発信します:

```
UCS-A# scope monitoring
UCS-A /monitoring # scope callhome
UCS-A /monitoring/callhome # send-test-alert alert-description
"This is a test alert" alert-group environmental
```

一般的な問題

簡単なコンフィギュレーション問題は別として、ネットワーキングにおいての問題がメール サーバは見られます。また、登録問題はよくあります。

ファブリックの IP アドレスは相互接続し、仮想 IP アドレスは SMTP サーバのリレーとして設定される必要があるかもしれません。

新規 ユーザ 登録を作成することは必要となります:

- にあのための有効な Cisco.com ID は人を登録しました。
- にあが人を登録したときに、Smart Call Home によってサポートされる会社のための少なくとも 1 つの有効な契約は管理者として登録されている必要があります。

[デバイスを設定し登録する方法](#)の短いビデオ

登録問題によってこれが SCH 登録チームを含むように問題を解決するためにこのリンクに行ってください: [Smart Call Home](#)

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)